

# 児童が税について主体的に学ぶ学習を目指して

第6学年「わたしたちの生活と政治」  
の学習を通して

教諭 石井 歩



1. 学習指導要領上の位置づけ
2. 実践について
3. 学習中の児童の実際
4. 振り返り

# 学習指導要領上の位置づけ

## 学習指導要領上の扱い

- 第6学年

### 社会科 内容(2)

## 内容(2)の取り扱い

イ …租税の役割などについても扱うようにすること。

エ …納税の義務などを取り上げること。

## 租税の役割

租税が国や県、市によって行われている対策や事業などの費用として使われていること、それらは主に国民によって納められた税金であることなどを理解できるようにする。その際、限られた財源をどのように配分するのかを決める責任は、国会や地方議会などの制度を通して、国民や住民にあることに触れるようにする。

# 実践について

## 実践単元

①国の政治のしくみ  
と選挙

②子育て支援の  
願いを実現する  
政治

## 実践のねらい

- ・児童が、学ぶ順序や方法を選びながら学習ができるようにすることで、税金について自ら疑問を持ち、その用途や仕組みについての知識を主体的に獲得できるようにする。

## ねらいに迫る手立て

- ・「疑問を持つ → 市役所の働き → 市議会の働き → 税金の働き」という単元構成を、単元内自由進度学習の形で行う。

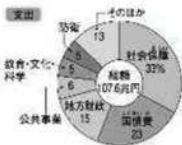
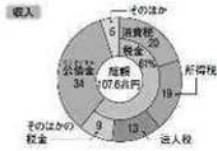
※国政の学習も、国会・内閣・裁判所の働きを同様の方法で行う。

## 検証方法

- ・児童の学習感想や、税についてのアンケートを取り、その記述から、児童が学んだことを確かめる。

## 学習中の児童の実際

## 疑問をもつ



【図】日本の国の予算(2022年) 税金のみで支出をまかなえず、収入の約3分の1を公債金(借金)で補っている現状が問題になっています。

総額6690億円



【図】さいたま市の収入と支出(2023年度) さいたま市では市の予算を、福祉や教育、安全なまちづくりなどに対して使っています。

- ・税金って何に使っているの？
- ・国の借金を返すには、税金を増やしたら良いんじゃないの？
- ・税金が減れば、お金を使わなくても済むようにならないの？



市民の願い



児童館完成

児童館



だれに、どう願いが伝わる？  
お金はどこから？ 上限は？  
会議はだれが？  
子どもの願いでもOK？  
なぜ自分のお金なのに、  
みんなのためのもの？  
だれに言えばいい？

## 調べる

- 教科書、インターネット、NHK for Schoolの映像資料などから、児童それぞれが選択して活用。
- 友達と一緒に、一人で、先生に質問など、学習の方法も選択して良い。
- 調べてわかったことをロイロノートのテキストにまとめ、提出→蓄積



- インターネットから情報収集し、分かりやすくまとめる。



## まとめたもの

市役所の仕事  
教育委員会↓

- 学校
- 図書館
- カルチャーセンターや体育館の管理

### [市役所について]

市役所では、議会で決められたことや市民の要望にあうものを国の法律に基づき市議会や市民からの意見を通し実行する場所です。

その他にも引っ越しや結婚、子どもが生まれたときなど、市民の暮らしにかかわるさまざまな届け出を受け付けて管理をしています。(健康保険・税関係の手続き、インフラ整備、市営施設の運営などを)

**<国会とは>**  
 簡単に言うと、国民の代表の集まり。  
 代表者たちは生活に関わることや外国との関係など、  
 国をより良くするために日本の決まりを作っている。

**国会の仕事**

- ・ 決まりを作る
- ・ 建設物の予算の話し合い
- ・ 「これはおかしい」等を議論しあう

**国会と内閣の関係**

**国会とは**  
 国で唯一の立法（法律を作る）機関。国会における話し合いの参加者が、選挙で選ばれた国会議員。  
 国会には、衆議院と参議院の二つがあり、それぞれで私たち国民の生活に関わる予算や法律について話し合う。

**国会の働き**  
 2つの議員で国の政治の方向性を多数決で決めること。

- ・ 法律の制定
- ・ 内閣総理大臣（首相）の指名
- ・ 予算の議決
- ・ 条約の承認
- ・ 弾劾裁判所の設置（裁判官を辞めさせる）
- ・ 憲法改正の発議

**裁判所**

① 裁判所の仕事  
 犯罪を犯した疑いのある人を有罪か無罪か判断するところ

② 裁判所にはどんな人がいる  
 裁判をする時には、裁判長・裁判官・裁判所書記・裁判所速記官・弁護士・検察官・被告人がいます。

**裁判所とは**  
 犯人などとの法的な紛争を解決したり、犯罪を犯した疑いがある人が有罪か無罪かを判断したりすることにより、国政の秩序をやり、国民生活の平穏と安んぎを掌ることをする。無罪を主張する人とかいるやん、それがほんとうか確かめる仕事や。

**裁判の仕組み**

**裁判の流れ**

1. 検察官が事実関係や法的問題などの質問を述べる（質問） ← 事件のこと話す
2. 検察官が被告人に尋ねるべきと考える問を述べる（求刑）
3. 被告人が事実関係や法的問題などの意見を述べる（供述）
4. 被告人が意見を述べる（最終陳述） ← 法律と証拠を話さす

## 内閣とは？

(●●●●●)内



内閣は、政府をおこなう機関です。  
「政府をおこなう」と書いて「行政」と呼び、内閣は行政をもつよ。

## 内閣とは何ですか？

内閣は、国会で決められた法律や予算に基づいて、国の仕事を進めていく組織。内閣総理大臣と国務大臣がメンバーです。内閣のメンバーが集まって話し合う会議を「閣議」と言います。閣議は通常、週2回行われ、国の行政について話し合います。

### 内閣



## 税金とは？

簡単に言うと、私たちの周りには、私たちが健康で安全に暮らせるようにつくられた、たくさんの『公共サービス・公共施設』があります。これらのサービスや施設をつくるには、たくさんのお金がかかりますので、必要なお金を、みんなで出し合って負担しています。これが『税金』です。

## 何に使うのか？

- 公共施設
  - 公共設備
- など、いろいろな場所に使われるよ！

## 例えば…

- 信号
- 消防署

とかいろいろあるよ！

## 【税金と国民の関わり】



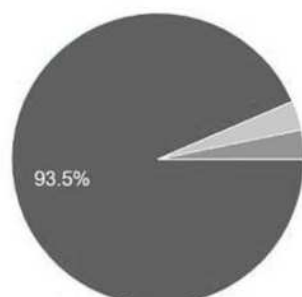
# 振り返り

## アンケート結果

勉強をしてみて、税金は必要だと思いませんか？

31 件の回答

 コピー



- 必要だと思った。
- いらなと思った。
- もっと減らした方がいいと思った。
- もっと増やした方がいいと思った。

## 回答の理由や感想

私は、税金を増やした方がいいと思います。なぜなら、今生きている人が大変になるけど、税金が多かったら日本の借金が返せるかもしれないし、税金が返せたら未来で楽になる可能性が高いのと、ホームレスで苦しんでいる人が減るかもしれないからです。それに少子高齢化が改善する可能性だってあるし、税金を増やした方が将来のためになることがたくさんあるから私は税金を増やしたほうがいいと考えました。

私は税金は今のままの方がいいと思います。なぜなら、増やしたら生活が苦しくなり、脱税する人が増えてしまうから。逆に、減らすと、日本のお金が足りなくなるから。どっちも悪いことがあるから、今のままの方がいいと思った。

税金は減っても増えてもメリットデメリットがあることがわかったので国の安定を維持できるように年が変わるごと徐々に少しずつ増やしていくことが大切だと思いました。また、少子高齢化の影響で税金が増えることがあるので、少子高齢化対策のために税金を増やすことも大切なのかなと思いました。

いろいろなことが不便になるから

私は、税金を増やした方がいいと思います。なぜなら、今生きている人が大変になるけど、税金が多かったら日本の借金が返せるかもしれないし、税金が返せたら未来で楽になる可能性が高いのと、ホームレスで苦しんでいる人が減るかもしれないからです。それに少子高齢化が改善する可能性だってあるし、税金を増やした方が将来のためになることがたくさんあるから私は税金を増やしたほうがいいと考えました。

税金がないと救急車を呼ぶだけでお金がかかるから

借金を返せないとまた戦争などが始まってしまうから

税金がないと、もし火事が起きた時に火を消すために使ったお金をその家の持ち主が全部負担しなきゃいけないと、国民が大変になるから。(私たちも含めて)

無いと、今までの生活が不便になるから

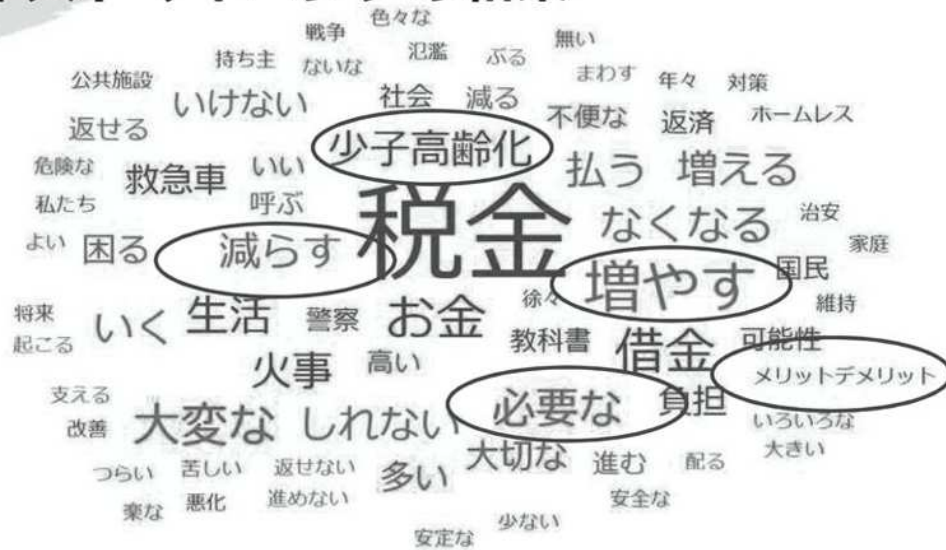
税金は、生活からなくなったら大変なことになるから。かといって、増やしても生活が苦しくなるし、減らしても借金が返済できずに困るから。

もし税金がなくなったら、教科書代など家庭の負担が大きくなるから必要だと思う。

税金は今のままで良いだと思います。  
 理由は税金を減らしたり無くしたりすると国民が安全に暮らせるようにある警察署や消防署も税金で動いているので税金がなくなると国民が何かトラブルに巻き込まれた時に、費用を気にせず相談できたり捜査や逮捕してもらおうことができなくなるかもしれないし増やしたら払えない人もいるので今のままで良いと思います。

私は、税金を増やしたり減らしたりせず、今のまがいとしたいと思います。なぜなら、もし税金を増やしたら今の生活が苦しくなるとし、減らしても借金を返せなくなるのでいいことがないからです。もし毎日で暮らすのであれば、今別のことに使っている税金を国債費にあてれば、少しはよくなるのではないかと思います。

## テキストマイニングの結果



## 児童の感想から分かったこと

- ・税金の使い道は、公共事業や公務員の給与等、様々だと気付く児童がいた。
- ・税金が無ければ、当たり前を受けているサービスが受けられなくなることを理解した児童もいた。
- ・自分たちが納税は、未来の人々の暮らしを支えることにつながると理解した児童もいた。
- ・増税や、減税のメリット、デメリットに気付いた児童もいた。
- ・少子高齢化と関連付けて、新たな疑問が生じた児童もいた。